
ウェイン・ドブソン&フレンズ
<1巻>
WELCOME
TO THE Fabulous
WAYNE DOBSON
& FRIENDS
クローズアップからステージまで。
21名の著名マジシャンによる
豪華寄稿を収録。
FT
フェザータッチ
MAGIC
フェザータッチ
MAGIC

「ウェイン・ドブソン＆フレンズ」

日本語版

＜1巻＞

（有）フェザータッチ MAGIC　www.ftmagic.jp　ft@ftmagic.jp

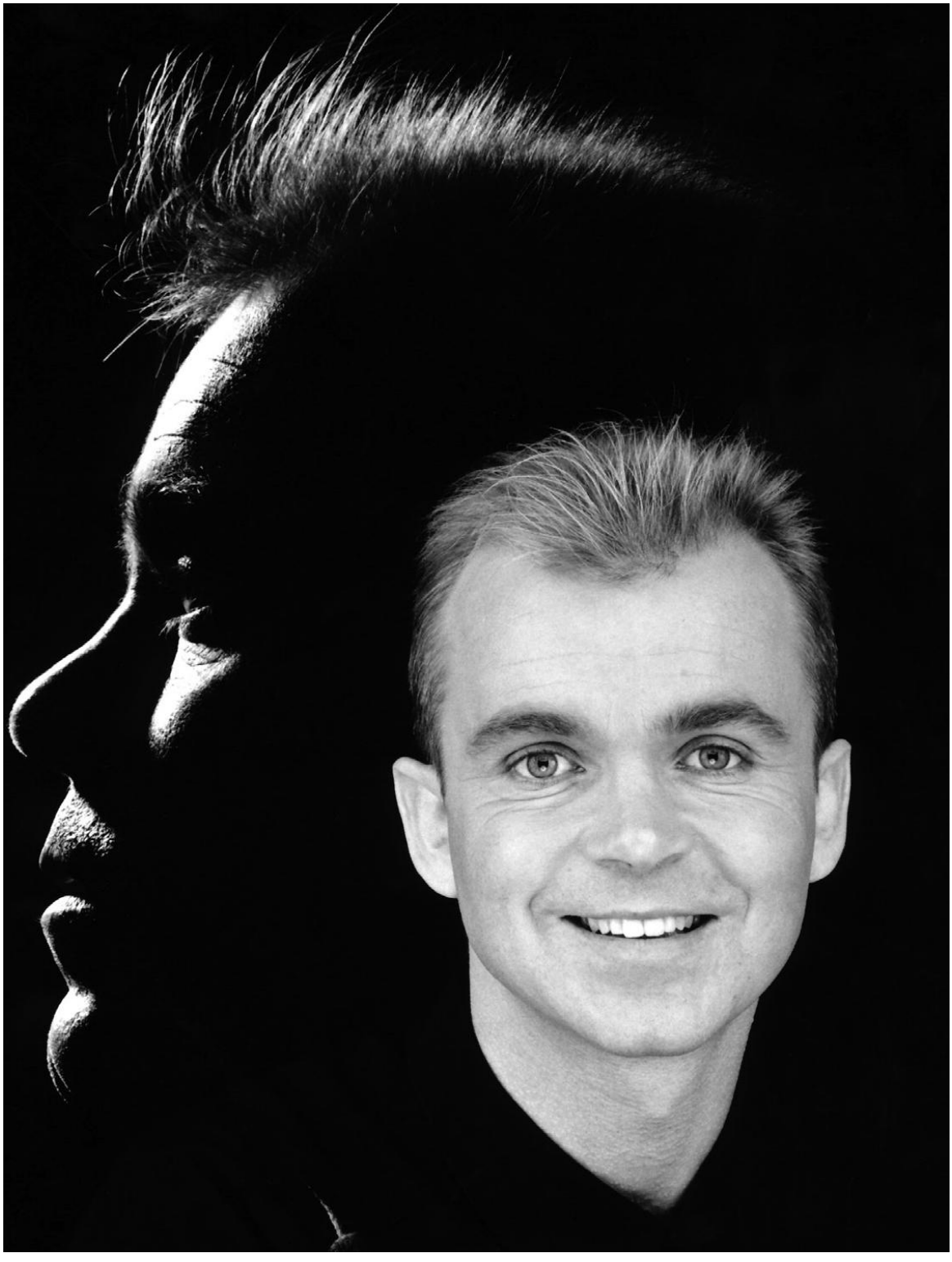
WAYNE DOBSON & FRIENDS

編集：ウェイン・ドブソン

編集：グラハム・ヘイ、マーク・レヴァリッジ

デザイン・タイプセット：フィル・ショー

(有)フェザータッチ MAGIC　www.ftmagic.jp　ft@ftmagic.jp



(有)フェザータッチ MAGIC　　www.ftmagic.jp　　ft@ftmagic.jp

マジックの限界に挑戦し続け、

私たちの芸術を新たなレベルへと進化させている

世界中のマジシャンに感謝します。

発行：マジックシーン誌初版
（2012年）
イギリスで印刷。
ISBN番号 978-0-9566539-2-5

＜日本語版＞

この日本語版はPhil Shawより
日本語版としての権利を購入して
（有）フェザータッチMAGICにて発行するものです。

“Wayne Dobson & Friends” RIGHTS TO PUBLISH CONTRACT BETWEEN MAGICSEEN & OSAMU TAKEMOTO（Feather Touch Magic）

Phil Shaw *Osamu Takemoto*

(on behalf of Magicseen) *2023年7月10日*

無断複写・転載を禁じます。
本書のいかなる部分も、出版社の書面による事前の許可なく、
複製、検索システムへの保存、いかなる形式または手段による複製、出版されたもの以外の製本またはカバーによる流通、
および本条件を含む同様の条件が後続の購入者に課されることなく流通することを禁ずる。

「ウェイン・ドブソン＆フレンズ」に含まれる見解は

執筆者／投稿者のものであり、

必ずしも出版社の見解を反映しているとは限りません。

© Magicseen Magazine

目次 ＜1巻＞

神様へ……10
はじめに……12
ウェイン・ドブソン……14
「オープン」*ウェイン・ドブソン*……21
「アニバーサリータンゴ」*ウェイン・ドブソン*……23
「無記名カード」*ウェイン・ドブソン*……25
「ラッキーカード」*ウェイン・ドブソン*……27
「ウインドーズ」*アンディ・ナイマン*……32
「酒には目が無い」*ビル・アボット*……37
「ひとこと」*フランク・ブルーノ*……44
「ひとこと」*チャーリー・フライ*……45
「ビンゴ」*チャーリー・フライ*……47
「ショート・エッセイ」*ダニー・バックラー*……54
「カードトリックの逆」*デビッド・リーガル*……58
「ミスディレクション・バニッシュ」*デビッド・ストーン*……69
「ひとこと」*リンダ・ルサルディ*……74
「綴る者、配る者」*デービッド・ウィリアムソン*……76
「ブイヤント・ビル」*ダーク・ロサンダー*……82
「直立するカード」*ダーク・ロサンダー*……90
「クリード」*ユージン・バーガー*……94
「ひとこと」*グレゴリー・ウィルソン*……98
「パーティバッグ」*グレゴリー・ウィルソン*……100
「インビジブル・デック・ステリティ」*グレゴリー・ウィルソン*……101

目次 ＜2巻＞

ハンス・クローク……

ジェフ・マクライド……

ジョー・パスクアーレ……

ジョン・アーチャー……

トミー・クーパー……

ジョシュア・ジェイ……

ケン・ブルック……

ケビン・ジェームス……

ポール・ゼルフィン……

コズモ……

マーク・メイソン……

マックス・メイブン……

ジェフ・ホーブソン……

パトリック・ページ……

マック・キングからのメッセージ……

サム・ショベル……

スペシャルサンクス……



(有)フェザータッチ MAGIC www.ftmagic.jp ft@ftmagic.jp

ごくたまに、人生について少しネガティブな気分になることがあるのだが、そのときの対処法が自分の考えを書き留めることだ。これは少し前に書いたもので、宗教的なものではありません。

親愛なる神様、

あなたは最初に、私からバランス感覚と立つ能力を奪いました。

次に、私の腕と右手の自由を奪いました。

さらに、物が二重に見えるようにし、私の話し方までおかしくしました。

そして、歩くことさえできなくなった私に、車椅子を与えました。

それでも私は、何事もなかったかのように前向きに生きてきました。

いつも笑顔を絶やさず、幸せそうに振る舞ってきました。

でも、ときには、その作り笑顔の裏に涙が隠れていることもありました。

あなたもそろそろ、私の人生を地獄に変えるのは終わりにしてくれるだろう。

そう思った矢先、

あなたは、唯一残されていたもう片方の手の自由まで奪ってしまいました。

さらに、痛みを伴う筋肉のけいれんを与え、両脚が勝手に跳ね上がるようにしました。

そして今度は、飲むとひどく気分が悪くなる薬まで与えてくれました。

考えてみれば、あなたは本当に気前のいい方ですね。

こんなにもたくさんのものを、私に与えてくださったのですから。

でも、もうそろそろやめていただけませんか？

私はもう、本当に十分です。

神様、私の人生をめちゃくちゃにしてくれて、どうもありがとう。

でも、どうか、私の美しく愛しい妻だけは、そっとしておいてください。

妻は、私にたくさんの愛情を注ぎ、キスをして、優しく触れてくれます。

それなのに、私はその愛情に同じように応えることができません。

それがたまらなくもどかしいのです。

なぜなら、私は妻を心から愛しているのですから。

母も、父も、兄弟も、私は心の底から愛しています。

もっと頻繁に会えたらいいのにと思いますが、私たちは遠く離れて暮らしています。

でも、私には素晴らしい思い出がたくさんあります。

その思い出だけは、あなたにも決して奪うことはできません。

そして、私には大切な友人たちもいます。

彼らは、毎日を闘い抜くための力を私に与えてくれます。

この闘いが、いずれは負ける運命にあることは分かっています。

そして、あなたは完全に勝利するまで満足しないのでしょう。

でも、それまでの間、私は前向きな気持ちを失わず、こう言い続けます。

「最高の瞬間は、まだこれからだ！」

“The Best is Yet to Come!”

ウェイン・ドブソン 2011 年

P.S.最後の言葉は、おそらく真実ではない？でも、そう言うと気分が良くなる！

はじめに

マジックを演じる人もいれば、マジックである人もいる。本書の寄稿者たちは正真正銘の例外だと私は信じている。

この本を書くべきだと私に提案したのは、デレク・レヴァーだった。最初は、友人たちの地位を利用していると思われたくなかったので、友人たちに声をかけることに少し不安があった。この本に登場する人たちは皆、最高の素材を惜しみなく提供してくれた。

この本に掲載されているすべての協力者は、私のマジックに大きな影響を与えた人たちです。今まで出版した本やDVDの中で、この本を出版した時の興奮に匹敵するものはなく、これらのマジシャン全員が私の友人であることをとても誇りに感じています！

ウェイン・ドブソン、2012年



ウェインドブソン

ウェイン・ドブソンはレスターで生まれ、初めてマジックの面白さに出会ったのはまだ幼い頃だった。わずか16歳でレスター・マジック・サークルの史上最年少メンバーとなった。

〃少年時代の最も古い記憶のひとつは、子供たちのパーティに行ったとき、マジシャンがティッシュペーパーをちぎって花束に変えるのを見たことだ。テレビでマジックを見て、自分もやってみたいと思ったんだ。

9歳のとき、クリスマスプレゼントに父と母がデビッド・ニクソンのマジックセットをくれた。それがきっかけだった。私はマジックが大好きで、すぐにそのアイデアに魅了された。しばらくすると飽きてしまう他の流行とは違って、マジックは私にとって夢中で、マジックの歴史や新しくエキサイティングなトリックを演じる方法についてもっともっと知りたいと思った。〃

数年後、ロンドンへの修学旅行で、ウェインはマジックの持つ魅力に気づいた。

「学校の遠足で大英博物館へ行ったとき、世界で最も有名なマジックショップのひとつであるダベンポートを見つけ、ふらっと入ったんだ。アラジンの洞窟のようだった。金、銀、宝石の代わりに、この素晴らしい場所にはファンタスティックなトリック、素晴らしい魔法の道具、本、偉大なイリュージョニストの本物のポスターがぎっしり詰まっていた。古い腹話術人形が壁や天井から吊るされていた。マジックの宝庫であり、マジックショップがあるべき姿のすべてだった。

カウンターにいたのはパット・ペイジという紳士で、彼自身も熟練したマジシャンだった。

私は彼にマジックへの情熱を語り、すぐに打ち解けた。ほどなくして、彼は一連のマジックを見せてくれた。中でも私を驚かせたのは、３つの銀のカップと３つのボールがフルーツと野菜に変わるというものだった。

「それは本物のマジックだ。私にはできない」と私は言った。「できるよ」とパットが答えた。

カップやボールを買う余裕はなかったし、道具もただの小学生には高すぎたので、トリックのやり方を書いた本を買って、家でティーカップを使って練習した。



パット：「8 人の王が、1 人の病んだ悪党のために 95 人の女性を救うと脅した・・.」**ウェイン**：〝なぜ？〟

それが私が初めてプロとして演じたトリックだった。結局、小遣いを全部貯めて『カップとボール』を買い直した。パット・ペイジは私の大親友であり、師匠であり、テレビ出演の際のマジカル・アドバイザーでもあった。

初めてロンドンを訪れてから、週末はマジックショップを訪ねたり、マジックについて話したりして、できるだけ多くのことを学んだ。

その後、ちゃんとトリックをするようになり、学校の友達が感心してくれたので、いい気分になった。地元の図書館にしつこく通って、図書館で手に入るマジックの本を全部買いあさった……。

10代を通してマジックの腕を磨き、本物のマスターになった彼は、友人や家族にマジックを披露したり、時には地元のユースクラブでショーをしたりと、とても楽しんでいた。



ウェインのテレビ・デビューは1977で、司会者ジョン・ノークスのために『ブルー・ピーター』に出演した。

「デビッド・ニクソン、パット・ペイジ、ロイ・ジョンソン、ケン・ブルックは皆、私に大きな影響を与えた。」

ウェインは、もう一人のマジック界の俊英、ダイ・バーノンからもインスピレーションを受けた。

「私がクロースアップマジックに興味を持つようになったのは、ダイ・バーノンの影響だと思う。彼は現代のマジシャンやイリュージョニストたちから尊敬され、それは当然のことです。彼は偉大な革新者の一人だった。カップとボール」のルーティンは彼の得意技のひとつだった。」

弱冠16歳のウェインは、素晴らしい才能と独創性を発揮し、セミ・プロとして地元の仕事やクラブでの仕事をこなし始めた。

1977年、彼はIBMブリティッシュ・リング・コンベンションのクロースアップ・コンペティションで優勝した。これがきっかけとなり、BBCテレビの『ブルー・ピーター』でテレビデビューを果たす。わずか21歳でプロのマジシャンになることを決意。

「プロになるのは大きな賭けだった。しかし、親友でマジシャンのロイ・ジョンソンに説得され、安定した仕事と定期的な収入をあきらめ、ショービジネスのキャリアにすべてを賭けることにした〃

この賭けは報われた。ウェインは悪名高いイギリスのクラブ・サーキットで大成功を収めていた。

早口のパトリックと一瞬の一発芸で笑いを誘う彼のオリジナル・スタイルのマジックは、その効果を発揮していた。

イギリスのトップ・パフォーマーたちとのツアーが続き、ウェインはフレディ・スター、シャーリー・バッシー、シャドウズのオープニングを務めた。



フレディ・スターとフランク・ブルーノという友人たちと。

テレビ局もウェインのマジックに注目し、数々のトップ・ショーに出演した。

1988 年にはエンゲルベルト・フンパーディンクのアメリカ・ツアーに同行し、ラスベガス、レイク・タホ、ハリウッド、ロサンゼルス、アトランティック・シティ、シカゴでマジックを披露。このツアーは大成功を収めた。

ウェインは素晴らしいユーモアと素晴らしいマジックを融合させる稀有な才能に恵まれていた。

ディーン・マーティンは彼のファンで、ラスベガスに彼を連れて行った。

「アメリカは私にとって大きな挑戦であり、大きな自信を与えてくれた。多くのことを教えてくれた。マジシャンとしてもパフォーマーとしても、自分の限界を広げ、発展させるチャンスだった。」



伝説の "時計スチール "を完成させようとするウェイン

1989年に英国に戻り、ロンドン・パラディアムで開催されたロイヤル・バラエティ・ショーでエリザベス女王の前に登場し、フランク・ブルーノとハリー・カーペンターのアシストによる陽気なルーティンで観客を爆笑の渦に巻き込んだ。

ウェインは引っ張りだこで、その年の後半にはジョー・ロングソーンの番組に毎週ゲスト出演し、クロースアップマジックと

イリュージョンを織り交ぜて披露した。これがきっかけとなり、彼自身のテレビ・シリーズがオファーされ、*『ウェイン・ドブソン～ア・カインド・オブ・マジック』*が誕生した。このシリーズは土曜日の夜にITVで全国放送され、さらに2つのシリーズが依頼されるほどの成功を収めた。一時、視聴者数は驚異の1,100万人に達した！

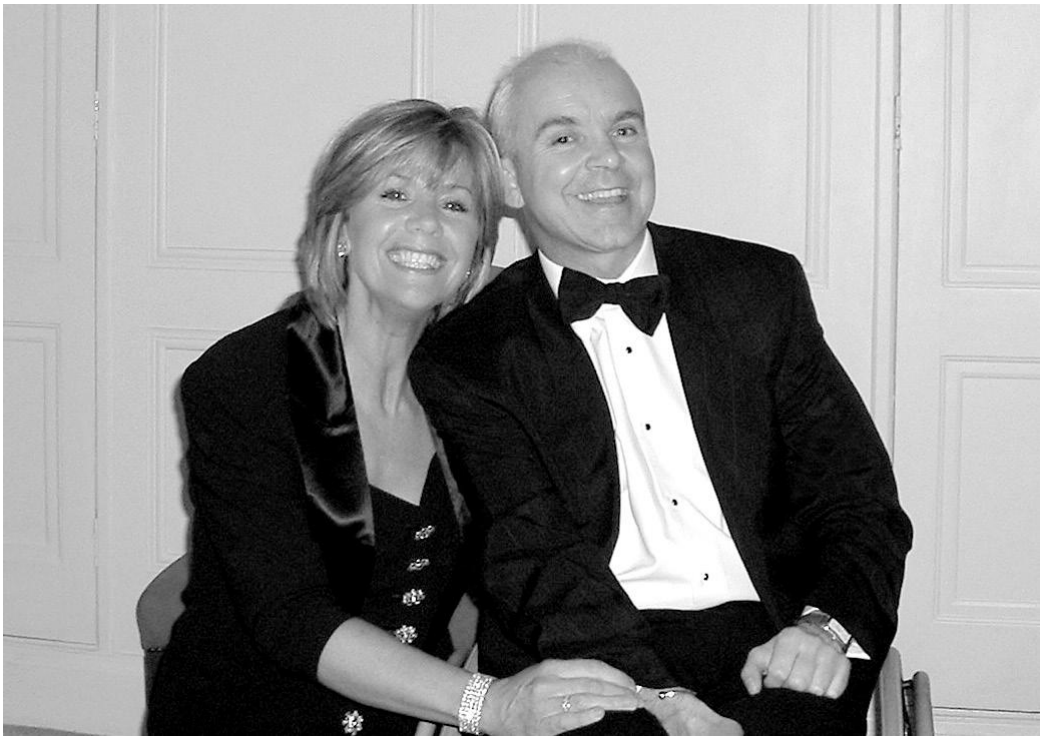
1988年、彼はMSと診断され、彼の未来は一瞬にして再定義された。このような逆境に直面したとき、たいていの人は諦めて未知の世界へと静かに消えていく誘惑に駆られるだろう。ウェインはあきらめず、それを決定的な瞬間ととらえ、挑戦し、仕事を続け、ジョー・パスクワールのような本当の真の友を見つけた。

マジックの友愛の中で、彼はアイコンとみなされ、国中の数多くの協会で頻繁にレクチャーを行い、彼の天性のウィットと素晴らしいマジック効果を生み出す能力は支持され続けた。彼は今でも才能あるエンターテイナーであり、今や他の人々にインスピレーションを与える存在となった。

英国には10万人以上のMS患者がおり、介護者やヘルパーの小さな軍隊に支えられている。ウェインは、次のような決意の光となっている。



マダム・タッソーのマジシャン・コレクション。



ウェインとマリアンヌ

他の多くの人たちと同じように。彼は恨み辛みを口にせず、ただありのままを受け止めてそれに取り組んでいる。彼は観客に対してオープンで完全に率直である。疑心暗鬼になったり、自己憐憫に陥ったりする瞬間があったとしても、それは決して表には現れないし、口にすることもない。

2004年、マジック・サークルから個人の優れた功績に対してマジック界最高の賞である「マスケリン賞」を授与された。

2005年、彼の大きな愛と支えであったマリアンヌと結婚し、現在はウェインのマジック製品を扱うDTRIKを経営している。

また、国内外のマジッククラブでレクチャーを行っている。

オープン

ウェイン・ドブソン著

私はポール・カリーの「オープン・プレディクション」がずっと好きだった。私がここで提供するのは改良ではなく、オリジナルの効果について考えているうちに生まれたものだ。

―以下省略―

アニバーサリータンゴ

ウェイン・ドブソン著

アニバーサリー・ワルツは（私も含めて）マジシャンにとって長年お気に入りのプロットである。ここで紹介するのは、私がMSになる前にやっていた方法である。

効果

男性と女性の観客がそれぞれ異なるトランプにサインをし、そのうちの1枚が消え、もう1人の観客のサインしたカードと一緒に再び現れるはずです。しかし、そのカードは消えずに、サインしたカードの反対側に現れ、2枚のカードが1枚のダブルフェイスカードになります。

―以下省略―

無記名カード

ウェイン・ドブソン著

効果

観客が好きなカードを思い浮かべ、デックから取り出し、誰にも見られないようにポケットに入れます（仮にクラブの4とします）。

次に観客全員に立ち上がってもらい、好きなカードを思い浮かべてもらいます。その後、様々なカードを呼んでいき、観客に自分のカードの名前が出たら座ってもらいます。

*赤のカードを思い浮かべている人は座ってください。コートのカードを思い浮かべている人は座ってください。*観客が1人残るまで、カードを呼び続けます。考えているカードを尋ねると、*「クラブの4」と*答えます。

ずっとあなたのそばにいた観客がポケットからカードを取り出すと、驚くことにそれはクラブの4でもある！

方法

―以下省略―

ラッキーカード

ウェイン・ドブソン

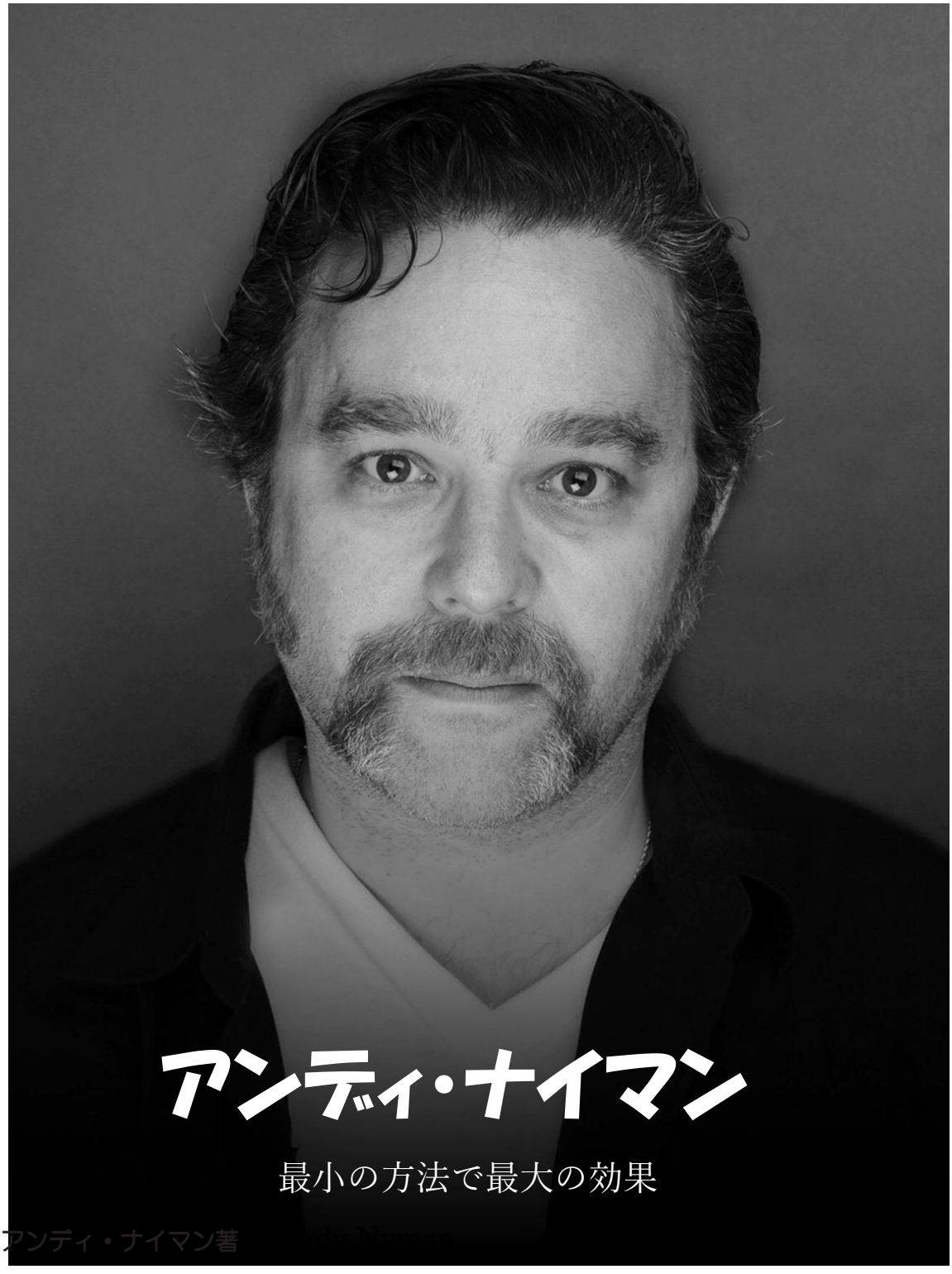
数年前、私はこのトリックを拙著『*スペシャル・エフェクト*』で初めて発表し、それ以来、非常に定期的に演じてきた。今では、どの「アウト」も同じように強力になるように改良しました！

恥ずかしながら、ダイ・バーノンの素晴らしいエフェクト「説明できないトリック」（*Dai Vernon's More Inner Secrets of Card Magic*）を、*私は知らない*。- written by Lewis Ganson - page 76）は、数年前に友人に完全に騙されるまで、私が知らなかったエフェクトである。

このトリックは私が本当に演じたいと思ったトリックだったが、体が不自由なため、この効果を正当に演じるのは難しいと感じた。最終的に、完全に「手ぶら」でできる方法を編み出すまでは、とても悔しい思いをした。何人かのマジシャンにこれを見せ、全員をだました。私はこれを改良したとは言っていない。

私のルーティンは、アドリブが必要な点ではバーノンのオリジナルに似ているが、ほぼすべての『アウト』は『ラッキーカード』というフレーズのバリエーションに集中している。

―以下省略―


アンディ・ナイマン
最小の方法で最大の効果
アンディ・ナイマン著

ウィンドウズ

アンディ・ナイマン著： Andy Nyman

私はしばしば、マジックやメンタリズムが観客にとっていかに無縁なものであるかに驚かされる。考えてみてほしい。ほとんどのトリックにおいて、観客はほとんど取るに足らない存在だ！観客は、ランダムな、あるいはランダムに見える選択を作り出すために必要な道具にすぎないのだ。その典型が「カードを1枚選んでください」（その後に派手な誰得ムーブが続く）である。〝これかな？〟、あるいはメンタリズムの同類である〝単語を思い浮かべて、それを書き留めなさい〟（その後に、誰得な偉そうなしかめっ面が続く）。「あなたが考えている言葉は.....」。誰が気にする？マジックは観客にとって「能動的」でなければならないと私は信じている。

私はいつも、できるだけ観客のためになるような演出を心がけている。観客はその「瞬間」の興味深い部分であり、彼らがどう反応するか？彼らは反応するだろうか？どうすれば彼らの反応をより大きく、より強く、よりエモーショナルにできるか？

信じられないかもしれないが、あなたが観客に投資すればするほど、観客はあなたに投資する。それだけでなく、自分がいかに賢いかについて常にマジックを作るのではなく、観客と観客の反応についてマジックを作れば作るほど、あなたはより良く見えるようになるのです。

ピーター・ナルディの素晴らしいトリック「コモン・センス」とトム・ローテンの「CETA」デックを基にした次のエフェクトを紹介します。このエフェクトは、観客が過去の記憶を使います。観客は自分の人生から絵と感情を描き直すために全てを投資する必要があります。

効果

「目は『魂の窓』〟だと多くの人が信じている。あなたの心の内をあまり明かさないようにしながら、うまくいけばあなたの目から何かをつかむことができるかもしれない。」

あなたは7枚の名刺を見せ、それぞれの裏には異なる感情が書かれている；

幸福

怒り
恐怖

悲しみ

嫉妬

恍惚感

愛

カードを混ぜて渡し、観客にパケットをカットしてもらいます。

「この中から1枚選んでください。残りのカードを持って、あなたのカードを混ぜてください。では、目を閉じて、あなたのカードに描かれていた感情を思い浮かべてください。あなたがその感情を経験したときのことを思い浮かべてください。使える記憶はありますか？いいね。

「記憶をできるだけリアルにし、景色や匂いをすべて再現してほしい。できるだけリアルに感じられるように、できるだけその記憶の中に自分を置いてみてください。感情を強く、力強く、しかし顔では何も伝えないようにしてください。準備ができたら、うなずいてください」。

あなたは待つ。彼らはうなずく。

「私が指を鳴らしたら、目を開けてまっすぐ私を見つめてほしい。目を開けたら、できるだけ無表情でいることが重要だ。

あなたが指を鳴らし、彼らが見て、あなたが明らかにする！

方法

―以下省略―

ギャラリー



ウェインとクリフは〝夏休み〟に出発した。



ウェインとエイドリアン・ウォルシュにいくつかのことを指摘するフランク・カーソン。



ビル・アボット

「完璧主義者で、その熱意が周囲にも伝染する。」

酒には目が無い

ビル・アボット：Bill Abbott

はじめに

ウェイン・ドブソンの作品集「*Special Effects*」に収録されている「Bottle Opener」にインスパイアされ、この1年半の間に私が演じてきたルーティンを投稿するのが適切だと思った。ウェインのルーティンの多くと同様、ボトル・オープナーはシンプルさと商業的インパクトを強調している。私はウェインのオリジナル・ルーティンを非常に複雑にしてしまったので、これを演じるにはいくつかの小道具を購入する必要があるかも知れませんが、ミステリーのレイヤーをもう1つ加えました。私自身、プライベート・パーティーや特定の人物を祝うイベントでこのマジックを披露してきました。

効果とプレゼンテーション

パフォーマーは大きな紙袋を持ってステージに上がり、最前列の誰かに2本のコルクを手渡す。

「こんばんは、お客様。どうやらお酒とはずいぶん親しい間柄のようですね。そこで、私と一緒に心理実験に参加していただきたいと思います！

今、あなたの手には2つのコルク栓があります。1つはワインボトルのコルク栓、もう1つはシャンパンボトルのコルク栓です。シャンパンのほうは、ちょっとキノコのような形をしていますね。

ところで、あなたはキノコともずいぶん親しいようにお見受けしますが……。

では、そのうちの1つを私に返してください」

観客は指示に従い、コルク栓を1つ演者に返します。観客がシャンパンのコルク栓を選んだところで、演者は続けます。

「さて、もし私の予言が正しく、私に何らかの超能力があるとしたら、私はあなたがどちらを選ぶか、あらかじめ分かっていたはずですよね。

そして、ここにある袋の中には、未開封のシャンパンボトルが入っているはずです。

さらに、もし私が気前のいい人間だったら……まあ、そうだとは誰も言っていませんが！（笑）

もし、そのシャンパンをあなたにプレゼントするとしたら、今年中のどんな特別な日に、そのボトルを開けたいと思いますか？

―以下省略―